

富士見市公民館運営審議会議事録

会議の名称	令和3年度第1回富士見市公民館運営審議会
開催日時	令和3年7月1日(木)午後7時00分～9時00分
会場	鶴瀬公民館 いきいき活動室
出席者	神木基晴 長ヶ原美博 小谷千佳子 小林勝夫 新井充 横谷希己江 松尾信悟 小森和雄 三枝晴子 戸賀沢隆士 上堀護 田中洋子 會津貞子 松波徳美 上原みつ子 (15人) 鶴瀬公民館長 南畑公民館長 水谷公民館長 水谷東公民館長 (代理) 鶴瀬公民館事務局担当 (合計20人)
欠席者	長堀 厚子 (1人)
議事録確認	議長
公開・非公開	公開(傍聴人0人)
次第	○協議 (1) コロナ禍における新しい生活様式の中での施設の在り方について (2) 令和3年度の全体公民館運営審議会日程について (3) その他 ○報告 (1) 令和2年度事業記録『富士見の公民館』及び令和3年度各公民館事業計画について (2) 次回の全体会の日程について (3) その他
会議内容	
<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ(議長、鶴瀬公民館長)</p> <p>3 議題</p> <p>(1) コロナ禍における新しい生活様式の中での施設の在り方について事務局より説明。 各館のコロナ禍におけるR2事業実績等について報告し、委員より意見聴取。</p> <p>議長：大きく分けて施設提供・事業展開・施設維持管理等ということで3つに分けて話を進めていくのが良いのではないかとということで説明があったところです。これについて昨年度に【コロナ禍における新しい生活様式の中で</p>	

の施設の在り方】につきましてテーマを決めて話を進めていく事を決めたわけですが、会議そのものがなかなか開催されていない中、各地区公運審で話があったのかもしれませんが、そういったことも含めて皆様の率直な意見をお出しいただければと思います。

富士見の公民館の冊子を見させていただいた。令和2年度の利用者の総数が出ていた。年間5万6千人くらい。令和元年度は20万人だった。昨年度は1年間の利用について夜間の休館・各部屋の密を避けるため利用制限や、あるいは各団体の利用自粛があった為、ざっと1/4になってしまった。公民館の事業だけでなく、サークル活動等の自粛もあり、まだコロナの影響も続くことが予想されますが、どのように改善していったら安心して公民館が利用できるか等、皆さんのお知恵を出していただけたらそれは公民館としても気が付かないところもあるのかもしれませんが、そういった意味でも公民館に対して要望やお知恵を出していただけたらと思います。

館長：神木議長からお話を頂いたところは富士見の公民館の73ページに利用者の統計が載っていますが、お話しいただいた通り、公民館はあらゆる世代が学びを通して活気ある地域づくりに取り組んでいただくことも公民館の目的の一つとしてある。新型コロナウイルスがあったことから利用者も激減している。コロナにより生活様式も一変した。その中でどのような施設の提供・活用が求められているのか等、また今後どのような事業を展開していけば今後公民館に人が安心して集えるのか、そのために施設側もどのように維持していくのかということで、大きな柱として3つ設けた。それに対して自由にご意見をいただきたい。

委員：公民館はどのような層の方が利用しているのか、コロナ対策では高齢者の接種が6月までに終わり、7月いっぱいでもいい接種券がいきわたるといわれている。これがすすんでいけばコロナも収まっていく。そうすれば正常に近づいてくる。利用者数も回復してくるという予想はつく。公民館の利用については通常は年齢の高い人が利用している。昼間の利用は65歳以上になっている。変異株が来た時には一番厳しい方法でコロナ対策をしていく事となる。

事務局：コロナがなくなることを前提とするのではなく、今後もコロナ禍が常態化したときにどうやったら公民館をうまく利用できるのかという視点でお話をいただきたい。前回の議長・副議長会議でも話が出たが施設利用時は自動検温器のような装置を各公民館にもつけたらどうかという意見もあつ

た。公民館側からは想像しないような視点でご意見を頂けるとありがたいと思う。

委員：サークル利用時には誰が利用したか、体温も記録する用紙はある。各施設においては誰が何名の利用というものはあるが、施設に入ったときに体温が図れれば自分で判断できる。

館長：鶴瀬公民館では体温計は1台しかない。水谷東、南畑も1台。水谷は2台ある。

委員：水谷東は自宅から体温を測ってくる為、施設での検温はない。用紙に書くようになっている。

委員：クラブで体温計を買っているところもある。

委員：公民館は一つずつしかないのか。市からいただいたものが集会所では2つずつある。

館長：イベントがある時は市から借りて6台7台で対応している。

3つの観点からお話をいただきたい。資料2にあるとおり、新しい生活様式についてイメージの共有をはかる為、皆さんが漠然としてイメージしているものを出していただきたい。

皆さんの中で新しい生活様式とは何なのか、皆さんもコロナ対策についてマスク着用、手指消毒等、漠然としてイメージとして持っている。

その中で公民館としては国県から感染対策として示されたものがあるので、比較しイメージの共有を図っていききたい。

資料3にでている現状の公民館の感染対策は適切なのか？もっとこうしたほうがいいのではないのか等議論をしていただきたい。

今まで開催してきている公民館学級講座等はどうすればより安全に開催することができるのか？また、別な利用方法として新たな取り込み（テレワークやZOOM等）を取り入れる等、公民館としても従来の事業を見直してもいいのではないのか？

施設管理としてどういったところに注意してやっていったらいいのか？

コロナが収まり従来の利用者が戻った場合、さらに公民館に幅広い世代の利用者を取り入れるには、どうしていったらよいか？など協議していただきたい。

最近テレワークの要望が各公民館にあったがw i f i環境が整備されていない。

市民目線で考えた場合、そういった公民館への要望等についても地区の会議時に出していただき、全体会で発表していただきながら本年度のまとめとしていきたい。

委員：お年寄りにはスマホの使い方がわからない。7月16日にスマホの使い方講座を公民館職員が実施する予定。何回かやっていただける。

委員：お年寄りが多いのでスマホの使い方を教えていただけるとありがたい。

館長：鶴瀬も昨年度の市民大学の講座にスマホ講座があり、人気が高かった。今後も実施していきたい。

委員：公民館としてはクラスターも起こさず対応してきている。ですから極端に言えば特に問題ない。ただ、利用者数を見ると令和元年度から比較し、利用者が1/4となってしまった。検証する必要があるとは思いますがクラスターは起きていない。どういう場面でクラスターが起きているか考えると合唱等であちこちで出ている。インフルエンザでも合唱で広まった時もある。

どういう場合にクラスターが起きたのかを検証して、合唱のような飛沫感染リスクの高い事業の時はどうするのか公民館で決めてもらいたい、公民館では決められない。世間一般の話でどうかの判断となる。

どういう場合は実施してよいのか、お墨付きをもらう必要がある。延べ利用者数が減った時、クラスターは起きたのか？利用者数20万人の令和元年の時はクラスターは起きたのか？

利用制限についていえば公民館は子供から年寄りまで利用する。その中で安全を上げていくにはワクチンは別として今の現状では体温測定しかないと思う。

入り口で体温測定はやるべきだと思う。今、商業施設や病院では体温測定をしている。公民館として、劣っているところはどこなのか？例えば、トイレはどうなのか？除菌するものはあるのか？世間で対策しているところと比較してカバーしていかなければならない。それを箇条書きにして、どれが予算付けできるのかという話になってくる。大体こういうのは予算がなければできない話であり、クラスターが出た場合、なんでそれができなかったのかという話になってくる。現状として不備な点は多々あると思うが、1年半の積み重ねの中で新しいものを取り入れていかないといけないのではないのか？0歳-100歳まで使う公民館においてどのような安全対策をしていくのかが今後の課題になってくると思う。

世間と比較して公民館ができていないことを審議会の中で話していくのか、事務局側で列挙して公民館を含め市内施設で一斉に同じ歩調ですすめていく

という事になってくると思う。

委員：私はコロナにならないという方でもなる人はいる。自分は大丈夫だと思っている人もいるが、気のゆるみでしかないと思う。気を付けなくてはならない。公民館でもマスクを外している人など監視していかなくてはならないと思う。今サークルでみんなで何かやりたいとなった時、人数がある程度増えた時の為にガイドラインを作っておくべき。市制50周年事業等で飲食はしたい。

委員：公民館の給湯器が使えない為、サークル等では各自お茶等を持ってくる。

委員：消毒方法としてトイレトペーパーを使用するのはいいと思う。
公民館は地域の方が集まり、コミュニケーションのとれる場所。リモートでは寂しい。自動体温計が用意できないのであれば、体温計を増やして各利用する部屋に消毒と一緒にもっていってもらい、もちろん各家庭で計ってくるのも必要だと思う。

委員：公民館が大きい施設である事と利用者層の年齢幅が大きいことを考えると危機管理はしっかりしておかないとならない。今のコロナは何が起きるかわからない。
自宅で検温すればよいというのではなく、面倒だけど、来館者はみんな体温は計り、個人の特典もできる。どこまでのことをやっていくのか線を引く必要がある。

議長：体温計の話が出ているが、市民大学でそれぞれの講座に出るときは受付で体温を測り、名前のあるところに体温記入。体温計は市民大学で購入したものである。参加人数を制限して密にならないようにしたが申し込みも少なかった。市民大学は高齢者が多く、不特定多数集まる公民館の利用は怖いということで自粛した方がいた。公民館に行っても安心である状況を作っていく事がどうしたらできるのか体温測定はその一つだが改善できるところ、公民館でできるところの準備をしていただきたい。

委員：世間でやっている事で何があるのか。例えば消毒済ボールペンを使用前のところに、使用後ボールペンは別なところに置くようにする。またマイボールペンで書く人もいる。いろいろなものを羅列して何ができるのか検証していくべき。公民館としてできる事をしていかないと進まない。

館長：いろいろなご意見を伺った。今やっている事も列挙し、公民館として何がで

きるのか、地区公運審の中でできるところできないところを含め、コロナ禍における新しい生活様式の中での施設の在り方について議論していただき、次回の全体会に出していただきたい。

議長：館長から各地域でできるところできないところの議論をすすめていただきたいと思います。・・・本日の公運審で何かご意見はありますか？なければ次の次第に移りたいと思います。

次第3（2）

事務局：今後の全体会スケジュールですが、当初日程より1回目の日程が2ヶ月遅くなって7月1日となった。2回目以降は9月、12月、3月と同じ予定となっている。地区公運審はその間に設定していただきたい。

次第3（3）その他

特になし

次第4 報告

- （1）令和2年度事業記録『富士見の公民館』
事務局より説明

令和3年度各公民館事業計画について
各公民館長より説明

- （2）次回会議日程：令和3年9月30日（木） 19時～
南畑公民館